第十二講・ごんぎつね①

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

昔は、わたしたちの村の近くの、中山という所に、小さなおしろがあって、中山様というおとの様がおられたそうです。

その中山から、少しはなれた山の中に、「ごんぎつね」というきつねがいました。ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだのいっぱいしげった森の中に、あなをほってすんでいました。そして、夜でも、昼でも、辺りの村へ出てきて、①いたずらばかりしました。畑へ入っていもをほり散らし［A］、菜種がらのほしてあるのへ火をつけ［B］、ひゃくしょう家のうら手につるしてあるとんがらしをむしり取っていっ［C］、いろんなことをしました。

ある秋のことでした。二、三日雨がふり続いたその間、ごんは、外へも出られなくて、あなの中に［D］いました。

②雨が上がると、ごんは、ほっとしてあなからはい出ました。空はからっと晴れていて、もずの声がきんきんひびいていました。

ごんは、村の小川のつつみまで出てきました。辺りのすすきのほには、まだ、雨のしずくが光っていました。川は、いつもは水が少ないのですが、三日もの雨で、水がどっとましていました。ただのときは水につかることのない、川べりのすすきや、はぎのかぶが、黄色くにごった水に横だおしになって、もまれています。ごんは、川下の方へと、ぬかるみ道を歩いていきました。

〈新美南吉（にいみなんきち）「ごんぎつね」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　ごんは、山のどんなところにすんでいましたか。文章中から十四字でぬき出しましょう。

(2)　――線①「いたずらばかりしました」とありますが、なぜいたずらばかりしていたと考えられますか。もっともふさわしいものを次の中から選び、記号で答えましょう。

ア　村の近くにいたので、畑をあらさないと食べ物がなかったから。

イ　ひとりぼっちでさみしかったから。

ウ　人間がきらいだったから。

エ　おとの様に、自分の力を見せたかったから。

(3)　□A～Cには同じ言葉が入ります。もっともよくあてはまる言葉を、ひらがな二字で答えましょう。

(4)　□Dにもっともよくあてはまる言葉を次の中から選び、記号で答えましょう。

ア　ふざけて　**イ**　つっ立って

ウ　しゃがんで　**エ**　走り回って

(5)　――線②「雨が上がると」とありますが、雨が上がったときのごんの気持ちを表している言葉を、文章中から五字でぬき出しましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

兵十(ひょうじゅう)は、それから、びくを持って川から上がり、びくを土手に置いといて、何をさがしにか、川上の方へかけていきました。

兵十がいなくなると、ごんは、ぴょいと草の中から飛び出して、びくのそばへかけつけました。ちょいと、いたずらがしたくなったのです。ごんは、びくの中の魚をつかみ出しては、はりきりあみのかかっている所より下手の川の中をめがけて、ぽんぽん投げこみました。どの魚も、「トボン」と音を立てながら、にごった水の中へもぐりこみました。

いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりましたが、何しろ、ぬるぬるとすべりぬけるので、手ではつかめません。ごんは、じれったくなって、頭をびくの中につっこんで、うなぎの頭を口にくわえました。うなぎは、［A］いって、ごんの首へまきつきました。そのとたんに、兵十が、向こうから、

「うわあ、ぬすとぎつねめ。」

と、どなりたてました。ごんは、びっくりして、飛び上がりました。うなぎをふりすててにげようとしましたが、うなぎは、ごんの首にまきついたままはなれません。ごんは、そのまま、横っとびに飛び出して、一生けん命に、にげていきました。

ほらあなの近くの、はんのきの下で、ふり返ってみましたが、兵十は追っかけてはきませんでした。

ごんは［B］、うなぎの頭をかみくだき、やっと外して、あなの外の草の葉の上にのせておきました。

〈新美南吉(にいみなんきち)「ごんぎつね」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線「ちょいと、いたずらがしたくなったのです」とありますが、そのいたずらとは、どんなことでしたか。文章中の言葉を使って答えましょう。

(2)　(1)のときのごんの気持ちとしてもっともふさわしいものを次の中から選び、記号で答えましょう。

ア　いたずらができてうれしく思っている。

イ　魚を助けるために、必死な気持ちになっている。

ウ　兵十がにくくてたまらない気持ちになっている。

エ　兵十に見つかるのをおそれている。

(3)　[　]Aにもっともよくあてはまる言葉を次の中から選び、記号で答えましょう。

ア　グイッと　　**イ**　キュッと

ウ　するすると　　**エ**　ストンと

(4)　いたずらが見つかったときのごんの様子のよく分かる一文を、文章中からぬき出しましょう。

(5)　[　]Bにもっともよくあてはまる言葉を次の中から選び、記号で答えましょう。

ア　ほっとして

イ　かっとなって

ウ　しょんぼりして

エ　ゆかいになって

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講・確認(かくにん)テスト

次の中から類義(るいぎ)語を選びなさい。

1 用心
ア 安心　イ 注意
ウ 用意　エ 準備(じゅんび)

2 決心
ア 決意　イ 対決
ウ 決行　エ 解決(かいけつ)

3 重要
ア 重点　イ 必要
ウ 大切　エ 大小

4 平等
ア 公平　イ 平和
ウ 平成　エ 水平

5 意外
ア 論外(ろんがい)　イ 以外
ウ 県外　エ 案外

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　ごんぎつね①

一題目

(1) しだのいっぱいしげった森の中
(2) イ
(3) たり
(4) ウ
(5) ほっとして

二題目

(1) (例) びくの中の魚をつかみ出しては、はりきりあみのかかっている所より下手の川の中に投げこんだこと。
(2) ア
(3) イ
(4) ごんは、びっくりして、飛び上がりました。
(5) ア

〈確認テストの解答〉

１　イ　２　ア　３　ウ　４　ア　５　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。